

■開口部の比較検討(原設計案)

・合理的な構造計画

外壁を構造耐力上有効な壁とし、柱・梁断面の縮小を図ることで建物全体の躯体量を削減し、経済性を高めています。

・工事費

構造面での経済性の追求や、工事費の高い建具やガラスの利用を限定し、工事費の抑制を図ります。

・熱環境

開口部を抑制することで、南に面する執務室への直射光による熱負荷を低減し、空調効率を高めます。

■外観イメージ



南側からのパース



東側からのパース



北側からのパース



西側からのパース

■内観イメージ



1 階執務室からのパース



2 階執務室からのパース

開口部の比較検討 (検討案①: 原設計案の開口部を変更、追加)

・合理的な構造計画

外壁を構造耐力上有効な壁とし、柱・梁断面の縮小を図ることで建物全体の躯体量を削減し、経済性を高めています。

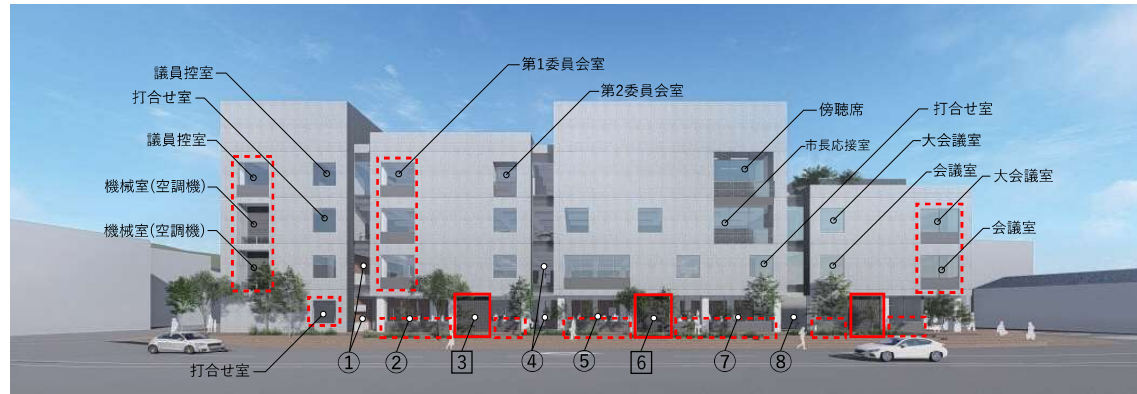
・工事費

原設計案と同様に、合理的な構造計画により工事費の抑制を図ります。全体的に窓を2割ほど増やしたため、建具工事費はやや高くなります。

・熱環境

原設計案に対し、主に1階は腰壁等により開口部を抑制することで、南に面する執務室への直射光による熱負荷を低減し、空調効率を高めます。

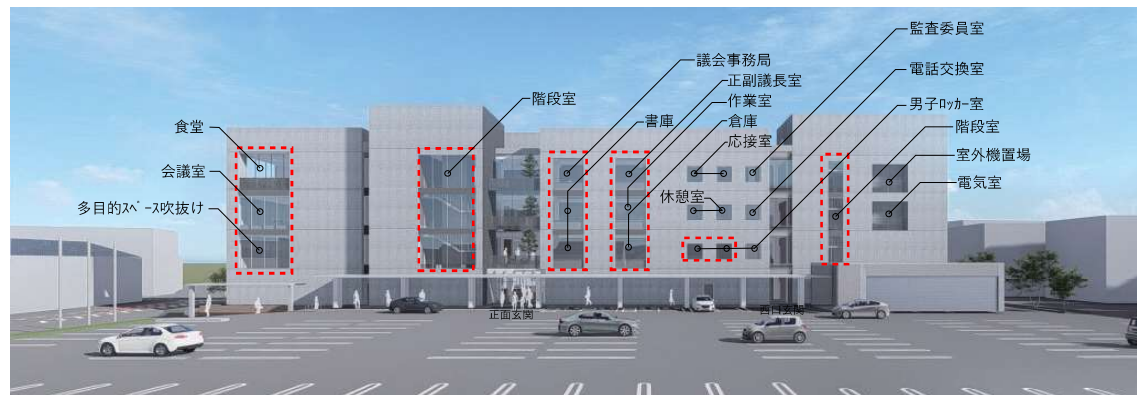
■外観イメージ



南側からのパース



東側からのパース



北側からのパース



西側からのパース

■内観イメージ



1階執務室からのパース



2階執務室からのパース